

●子育て支援の拡充について



早川太郎

Q.新型コロナの影響により、子育て世帯への更なる支援が必要となる課題が出てきている。それら課題の解決をサポートするための事業や、負担感を軽減させるための事業などは、しっかりと対応をしていかなくてはならない。ベビーシッターを活用した「いっとき保育の充実」や「スクールソーシャルワーカーの私立園への対応」、「就学前の園におけるICTの推進」など、子育て世帯への更なる支援が必要となる課題に対して、しっかりと迅速に対応していくべきと考えるかどうか。

A.子育て家庭への更なる支援が必要。今後も、子供の預かり事業など、既存事業の見直しや新たな取組みを検討し、ニーズに合わせた子育て支援施策を着実に推進していく。

●第6波に備えた体制強化について

Q.4回目の緊急事態宣言が解除されたが、第6波の発生懸念がなくなっているわけではない。

第5波の経験をもとに、第6波に向けての備えを充実しておく必要がある。在宅酸素や外来での診療、健康観察や連絡方法などの自宅療養者の支援について、医療関係者との連携を図ることも重要であり、初期治療や後遺症患者に対応できる医療体制の整備、また、医療関係者等外部人材を活用した保健所体制の強化なども検討すべき。

区はこれまでも、PCR検査センターの開設やワクチン接種会場の設置など、状況の変化に応じて速やかに対策を進めてきた。今後も、コロナとの戦い、区民の命を守るために、体制強化を図るべきと考えるかどうか。

A.保健・医療提供体制確保計画の策定を進めており、更なる体制整備を図っていく。後遺症について区民が身近に相談できる窓口の設置に向けた準備も行っている。想定外の新たな事態が発生した場合にも、できる限りの対策を講じ全庁を挙げて全力で取り組んでいく。

※その他「区財政について」「行政運営について」

●将来のまちづくりを見据えた仕組みづくりについて



松村ともなり

Q.各地において、まちづくりの課題が浮き彫りになってきており、様々な課題が輻輳している状況の中、区民が安心して住み続けられるまちを目指すためには、まちづくり施策として、ある程度市街地を規制できる仕組みが必要。

そこで、将来のまちづくりを見据えた仕組みづくりの実現を図る時期が迫っていると考えるかどうか。

A.用途や高さを制限する地区計画など、地域特性に応じた様々なまちづくり手法の活用が必要であると考え、現在、「良好な市街地形成の推進」事業において検討している。あわせて、地域の方々が、より一層まちづくり活動に参画できるよう、「まちづくりに係る総合的な条例」の制定に向けても取り組んでいく。

今後、皆様が安心して快適に暮らすことができる市街地形成を、公民連携を通じて積極的に進めていく。

●総合的支援を可能とする新制度について

Q.学校には生活指導上様々な問題が山積しており、子供へのよりきめ細かなサポートが必要であると考え。

現在、学力向上推進ティーチャーが各校へ配置されているが、活動に制限がある。

そこで、子供たちに対し、学力向上だけでなく、総合的に支援ができる新たな制度の検討が必要であると考え、教育長の所見を伺う。

A.教育委員会としては、今後、学力向上推進ティーチャーの在り方につきまして、学びに向かう力の育成等のため、指導できる教科の拡充や教員の補助的役割を担うことなど、これまで以上に個に応じた指導や対応ができるよう努めていく。

メンバー紹介

つなぐプロジェクト 新体制スタート(令和3年5月より)

幹事長

あおしか公男



- 議会運営委員会
- 区民文教委員会
- 交通対策・地区整備特別委員会

副議長

早川太郎



- 企画総務委員会
- 環境・安全安心特別委員会
- 文化・観光特別委員会

政調会長

本目さよ



- 監査委員
- 保健福祉委員会
- 子育て・若者支援特別委員会

副幹事長

松村ともなり



- 産業建設委員会
- 子育て・若者支援特別委員会(副委員長)
- 文化・観光特別委員会



「令和4年度にむけた政策要望」を区長へ提出

令和3年11月9日、「つなぐプロジェクト」は、「令和4年度にむけた政策要望」を区長に提出しました。

この「政策要望」は、「誰もが住んでいてよかった」「住み続けたい」と思える台東区実現に向けて、来年度に台東区としてしっかり推進してほしい施策をピックアップした内容になっています。第3回定例会開催中に、各議員へのヒアリングを行い、会議を重ねて決定いたしました。

今後の一般質問や予算特別委員会などの審議を通して、行政に強く要望し、より良い台東区の実現に向けて取り組んでまいります。



令和4年度にむけた政策要望(要旨)

I.行政経営の推進

- (1) ポストコロナを見据えた区政運営
- (2) ICTなどを活用した行政の効率化の推進
- (3) SDGsを踏まえた行政運営の実施
- (4) 窓口サービスの向上

II.まちづくり政策

- 1.災害対策
  - (1) 都市間の災害時応援協定の促進
  - (2) 在宅避難者への支援体制の充実
  - (3) 水害時の区外避難施設の確保
- 2.環境
  - (1) 省エネ・再生可能エネルギー活用促進
- 3.都市整備
  - (1) リノベーションまちづくりの推進
- 4.住宅
  - (1) 「新たな空き家を生まない」施策の検討

III.文化・伝統を活かした賑わい政策

- 1.産業
  - (1) ICT活用推進にむけたアウトリーチの充実
  - (2) プチ創業を含む創業支援の充実
  - (3) 女性の復職支援の推進
- 2.観光・文化
  - (1) ユニバーサルデザイン施策の推進

IV.教育・子育て政策

- 1.教育
  - (1) コロナ禍における教育・保育環境整備の推進
  - (2) 教育・保育現場のサポート機能の充実
  - (3) 生涯教育・スポーツの充実
- 2.子育て
  - (1) 多様なニーズに対応できる保育サービスの拡充
  - (2) 情報システム強化による要保護児童対策の充実
  - (3) ひとり親家庭への支援・多胎児支援の充実
  - (4) 子ども・若者の居場所づくりの推進

V.健康・福祉政策

- 1.健康
  - (1) 感染症対策の充実
  - (2) 新型コロナウイルスへの対応強化
  - (3) 受動喫煙対策の推進
  - (4) ワクチン接種の啓発
- 2.福祉
  - (1) ICT活用を含めたフレイル予防対策の充実
  - (2) ダブルケア対策の推進
  - (3) 障害者施設の整備・サポート体制の充実
  - (4) 地域福祉を担う人材への支援の充実

※政策要望の内容は、「つなぐプロジェクト」ホームページに掲載中▶▶▶



令和3年度に実施された要望内容

- 長期総合計画の一部修正
- デジタル行政窓口の整備
- マルチペイメントの導入
- RPAの導入促進
- テレワークの導入
- 台東区防災アプリの充実・強化(風水害対応や町会名表示などの機能追加)
- コロナ後遺症相談窓口の設置
- コロナ感染再拡大に備えた保健所の体制整備
- 家庭学習においても活用を進めていく小中学校のICT推進
- スクールソーシャルワーカーの増員
- 子ども食堂への支援充実(食事提供のみの団体にも支援拡大)
- フードパントリー実施団体への助成
- 保育園等への感染拡大防止対策における園の規模などにも配慮した助成
- 産後ケアの拡充(「デイサービス型」「アウトリーチ型乳房ケア」の支援を拡充)
- 多胎妊婦に対する妊婦健康診査費用の助成拡充

令和3年

## 第4回定例会報告

11月25日から26日間にわたって開催された第4回定例会は、令和3年度一般会計補正予算(第6回・第7回・第8回)や「固定資産税・都市計画税の軽減措置等の継続を求める意見書」などを含む議案47件を可決し、12月20日に閉会しました。今定例会では、12月2日の一般質問において本目さよ政調会長が、区長・教育長に対して提案・質問を行いました。

### 令和3年度一般会計補正予算(第6回・第7回・第8回)成立

第4回定例会では、特別給付金を年内に支給するため、12月2日に可決された約9億円の一般会計補正予算(第6回)のほか、約17億8千万円の一般会計補正予算(第7回)、最終日に緊急上程された約9億円の一般会計補正予算(第8回)が審議され、成立しました。

第6回補正予算では、「新型コロナの影響により負担が増加している18歳までの子どもがいる世帯(保護者の所得が児童手当の支給対象となる金額)へ、一人当たり5万円の給付を行う臨時特別給付金」が、第7回補正予算には、「コロナワクチンの3回目接種を実施

するための費用」や、会派で要望していた「ひとり親家庭等への食の支援として区内でフードパントリーなどを行う団体に対して経費の一部を補助するための費用」などが、第8回補正予算では、国の制度が変更され、**年内に現金支給が可能となったことに対応するため、追加の子育て世帯への臨時特別給付金**が計上されていて、必要な予算と考え賛成いたしました。今後とも、**新型コロナウイルス対策や子育て支援**など、より一層の充実をはかるべく、全力を尽くしてまいります。

### 第4回定例会 つなぐプロジェクト 一般質問要旨(12/2)

#### ●幼稚園・保育園・こども園での子どもの事故防止について

- Q.教育・保育施設において、子どもの事故は、起きてはならないものと考えている。
- ①事故防止の観点から、勉強会の実施や事故防止対策の周知啓発を徹底すべきと考えるが、どうか。
  - ②各施設における事故防止対策の実態を把握するため、調査を行うべきと考えるが、どうか。

A.**就学前教育・保育施設において、子供の安全を確保することについては、極めて重要であると認識をしている。安全確保をテーマに設定するなど、公立私立を問わず、事故防止のため、適切な対応に努めていく。巡回訪問や指導監査の場において、実態を確認するとともに問題点は指導をしていく。**

#### ●子どもたちが生理で困ることがないような体制づくりについて

- Q.①他区では児童生徒に対し、生理で困ったことについて、アンケート調査を行ったと聞いている。子どもたちの生理にどう向き合うかを決定するために、無記名のアンケート調査を実施すべきと考えるがどうか？
- ②学校が教育現場において担うべき福祉的役割と、生理に関する教育についてどのように考えているか？

A.①「**生理の貧困**」については、子供たちから相談があった場合には、より一層丁寧な対応をするよう、校長会や養護部会等において要請してきた。無記名での一斉調査という手法ではなく、**日頃の子供たちとの関わり合いの中で、信頼関係を築きながらそれぞれの家庭環境等を把握し、対応をしていく。**

②**生理も含めた心身の成長に伴う様々な不安の解消や問題の発見、解決を行うようこれまでも努めてきた。児童・生徒が性に関する正しい知識を身に付け、特別活動や体育科等をはじめとした性教育の学習の中で取り組んでいる。**



本目さよ

令和3年

## 第3回定例会報告

9月13日から45日間にわたって開催された第3回定例会は、令和2年度台東区各会計歳入歳出決算の認定のほか、一般会計補正予算(第4回・第5回)など議案17件を認定及び可決し、10月27日に閉会しました。第3回定例会では、一般質問ではあおしか公男幹事長そして、決算特別委員会総括質疑では、早川太郎副議長・松村ともなり副幹事長が、区長・教育長に対して提案・質問を行いました。

### 令和3年度一般会計補正予算(第4回・第5回)成立

第3回定例会では、コロナ対策などで速やかに事業を行うため、開会日初日に可決された約2億7千万円の一般会計補正予算(第4回)のほか、約19億5千万円の一般会計補正予算(第5回)や基金積立金約9800万円を含む約3億7千万円の介護保険会計補正予算(第1回)が審議され、成立しました。

**入院患者医療費や患者搬送などの費用**などが、第5回補正予算には、「**コロナ対策としての借換特別資金実績増に対応するための費用**」や、「**清川1丁目で開設予定の認知症高齢者グループホームの整備助成費用**」などが含まれていて、必要な予算と考え賛成いたしました。

第4回補正予算には、「**新型コロナ感染者急増に対応するための**

### 第3回定例会 つなぐプロジェクト 一般質問要旨(9/21)

#### ●新たな感染症対策について

Q.新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、地球温暖化によって未知のウイルスの発生リスクが高まるとされている。

デング熱発生時以来行っている調査手法がコロナ対策に生かされた他区の例もあることから、これまでの新型コロナウ

イルス感染症対策の経験を基に、新たなウイルスなどの脅威に備える必要があるのではないか。そこで、本区の新型インフルエンザ等対策行動計画に、新型コロナウイルス感染症の経験を反映させ、今一度総点検を行い、コロナ禍でも新たな感染症に備えるべきと考えるがどうか。

A.**新型コロナウイルス感染症については、人員体制を充実するなど必要な対策を実施し、感染拡大に伴い急増する保健所業務に対応してきた。今後、新たな感染症が発生した際も、今回の経験を活かし、国の動向等を踏まえ、対策を実施できるよう、行動計画の見直しも含めた体制づくりを進めていく。**

#### ●プラスチックごみの削減について

Q.ペットボトルなどの使い捨てプラスチック製品の使用抑制のため、プラスチックごみ削減に向け、具体的なマイボトルなどの取組みを行うべきと考えるがどうか。

A.**削減に向け、マイボトルの利用促進をはじめ、使い捨てプラスチックを使わないライフスタイルへの転換などを、広く区民に啓発するとともに、庁舎内でのペットボトルの削減に努めていく。**

今後とも、更なる効果的な取組みを検討していく。

#### ●キャッシュレス決済の更なる普及・啓発について

Q.アフターコロナに向けて、事業者のキャッシュレス化をpaypayに留まらず、さらに進めるべきと考えるが、今後のキャッシュレス決済の更なる普及・啓発についてどのように考えているのか。

A.**国や都が実施するデジタル化推進に関する支援策についての周知に努めて参ります。**

**あわせて、消費者の利用促進を図るため、キャッシュレス決済に関するセミナーの開催や区公式SNSを活用した情報発信などを行っていく。**



あおしか公男

### 令和2年度台東区各会計決算を認定

決算特別委員会は、議会で承認された予算が、「如何に効率的効果的に予算が執行されたか、翌年度にどう反映させていくか」を審議する、極めて重要な役割を持っています。

今定例会では、「令和2年度一般会計」のほか、5つの特別会計の歳入歳出決算が、決算特別委員会での5日間の費目別質疑や、区長との対面方式で行われる総括質問を経て、10月27日の本会議にて認定されました。

新型コロナの影響を大きく受けた令和2年度決算は、あまりにも例外的なことが多く、一般会計では、例年にない規模となり、財政状況を把握するのがとても困難な決算となっています。

一般会計の**歳入は、対前年度約232億円の増で約1317億円**。特別区民税で約10.8億円の増、地方消費税交付金も消費税率引き上げにより約8.4億円の増となっているものの、**特別区交付金は、法人住民税の一部国税化やコロナ禍の影響で約35億円の減**となり、**区有施設の使用料などは、コロナの影響で予算に対して約9.3億円もマイナス**。財源不足への対応として、**基金を対前年度30億円増の66億円活用**。また、一人10万円の支給があった特別定額給付金などの**コロナ対策経費に、国庫支出金などの特定財源が約235億円も入っていること**などが、大幅な増額要因となっています。

歳出では、給付金のほかPCR検査や医療体制の確保、特別融資などの**コロナ対策経費で、約243億円**。子育て支援などの扶助費や新たにスタートした会計年度任用職員の人件費も増加、**義**

#### ▼令和2年度決算概要

会計名	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	131,693,233,394円	123,761,360,943円
国民健康保険事業会計	22,762,683,916円	21,955,522,043円
後期高齢者医療会計	5,099,739,597円	4,949,129,965円
介護保険会計	16,836,980,770円	16,476,334,705円
老人保健施設会計	127,846,940円	127,846,940円
病院施設会計	582,721,391円	582,721,391円
合計	177,103,206,008円	167,852,915,987円

**務的経費は対前年度約11億円の増**。感染拡大防止の観点から中止・縮小となった事業などで、約19.8億円のマイナス影響が出ていたほか、区有施設の改修など先送りした事業があったにも関わらず、**対前年度に約193億円の増の約1238億円**となりました。結果、財政構造の弾力性を示す**経常収支比率**は、前年に比べて4.8%も増加して**89.1%となり、23区で一番高い数字**となっています。

経常的経費の増加により財政の硬直化が進む中、歳入の回復は不透明であり、また中長期的には、減額が懸念される要素も多々あるなど、区財政は引き続き厳しい状況にあると言わざるを得ません。

**コロナの影響で予算通りに執行できなかった事業も多々ありますが、9回にわたる補正予算を行い、コロナへの対応などを速やか実施してきたこと**などを評価し、**令和2年度決算を認定いたしました。**